NO.204



富士見 市議会だより

令和７年第２回（６月）定例会

たんぼラグビー実行委員会に議会がインタビュー



地域のにぎわいと笑顔が広がる「たんぼラグビー」。スポーツを楽しみながら、土や農の魅力にも触れられるこのイベントについて、実行委員の高橋正樹さんと滝澤真さんに富士見市議会がインタビューをしました。

たんぼラグビーとは

・毎年５月頃に水を張った状態の田んぼ（代掻き）でラグビーをするという競技です。本当のラグビーは激しくて危険な感じがするかと思うのですが、たんぼラグビーでは、大人・子ども・男女関係なく参加でき、「タッチラグビー」のルール（タックルの代わりにタッチ）で、皆さん笑顔で楽しんでいます。

・出場チームは、友達・会社仲間・地域自治会・部活ＯＢ会などの皆さんで構成されています。試合人数は４人対４人で行われ、選手交代は自由に行えます。

・たんぼラグビーでは、皆さんに田んぼでバシャバシャと泥んこで楽しむことをモットーにしていますので、優勝チームを決めたりはしません。

・我々のたんぼラグビーは子どもたちが大活躍する場なので、ラグビー経験者や大人だけのチームには、〝大人の対応〟が必要となります（笑）。



第６回たんぼラグビー当日の様子

始めたきっかけは

・最初は子どもたちにラグビーを知ってもらうためにタグラグビー（タックルの代わりに腰に付けた紐［タグ］を捕るラグビー）を教えていたのですが、ネット検索で「たんぼラグビーをやってみた」のような動画を見つけ、ボールと田んぼがあればできるんだということで始めました。

・たんぼラグビーの発祥は京都府福知山市で、立ち上げ時にはポスター・企画書・写真・スケジュール表など色々な資料を提供いただきお世話になりました。

・我々の「たんぼラグビー」は、2018年に第一回を富士見市との協働事業として開催しました。以来、水谷公民館の職員や地元農家の方々からのアドバイスと、富士見市の後援をいただきながら、少しずつ発展を遂げてきました。

運営の中で大切なこと、大変なことは

・第２回開催時に参加者が多く集まり過ぎてしまい、会場の容量を超えてしまいました。このイベントは、大勢の人を集めることが目的ではないので、来場者の皆さんが楽しめるように出場チーム数をコントロールしています。

・地域の方々のご理解をいただけなければ開催できないので、「大切な田んぼを使わせてもらう」という気持ちを持ってイベントを開催しています。

・お借りしている田んぼも実際に田植えを行うので、脱げた靴などが残らないよう気を配っています。

たんぼラグビー米とは

・会場で使った田んぼで、田植え・稲刈りをして実際にお米を作り「たんぼラグビー米」という名前で販売していただいています。

・たんぼラグビー米を通じて、富士見市にこれだけの自然があるということと、米どころがあるということを知ってもらえればと思っています。



写真左から　高橋正樹さん、滝澤真さん
（たんぼラグビーin富士見・南畑実行委員）

たんぼラグビーを運営してきて思うことは

・「ラグビー」＋「遊びたい」＋「田んぼ」＝人が集まる本当のところ、自分たちはただ「遊びたい」だけなんです。ラグビーで遊んで楽しみたい、ラグビーを見て楽しみたい。そこから田んぼ?ラグビー?スゲーじゃん！面白そうじゃん！ということで、色々な苦労がありながらもやってみたら人が集まりだしたんです。来場者の皆さんもそうですし、協力していただける地域の皆さん、近隣の大学生の皆さん、市の職員の皆さんのバックアップもそうです。自分が楽しくやっていることで、自分以外のところで色々な新しいつながりが増え、たんぼラグビーに出たい方がチームを作るために全く違う地域から人を呼んでくるんです。これって凄いことだなって思っています！来てくれた皆さんは、今日一日最高！楽しかった！と帰ってくれて、帰ればきっといろいろな人に話をすると思うんですよね。

・私のひそかな楽しみは、ネットで「富士見市でたんぼラグビーをやってみた」などと検索することなんです。そのコメントでまた人がつながっていく。達成感、充実感を味わいながら、また来年も頑張らなきゃという責任感も生まれてきます。

・今後も大切にしていきたいことは、やはり〝つながり〟ですので、地元の高校生や新しい参加者に、ぜひ体験していただきたいです。





トピックス

令和７年第２回（６月）定例会が６月３日（火）から６月25日（水）までの23日間にわたって行われました。

今定例会では、令和７年度富士見市一般会計補正予算をはじめ、12件の議案等が市長から提出され、審議の結果、全て原案のとおり可決・承認・同意しました。

市議会議員の年賀状・暑中見舞状・祝金等の寄附行為は、法律で禁止されております。皆様のご理解をお願いします。

市政一般質問

市民の皆さんの生活にかかわる諸問題や富士見市の課題などについて市議会議員が市に対して質問を行いました。





深瀬 優子（公明党）

①地域公共交通の拡充を

Q ライドシェアの今後の調査研究の進め方について。

A 公共ライドシェアや日本版ライドシェアの取組事例が増えているので、引き続き、情報収集や今後の動向を注視していく。

Q デマンド交通の拡充に向けて、予約が入った停留所だけを回る「ミーティングポイント型デマンド方式」を検討してみてはいかがか。

A 宇都宮市の細谷・上戸祭地区における実証実験の結果を含め、先進事例の一つとして調査研究していきたい。

②社会生活と治療が両立できる環境づくりを

Q 埼玉県の助成事業を活用して「ウィッグ、乳房補整具等の購入費用の助成事業」の早期開始を。

A 必要性を認識しており、現在、関係部門と協議を行うべく、手続を進めている。



伊勢田 幸正 無会派（日本維新の会）

①自主財源の確保について

Q 所沢市では、マンホールのふたに企業の広告を載せ、令和4年度実績で17社から260万円の収益を計上している。本市でもできないか。

A 調査研究する。

Q 志木市では、駐輪場に広告を募集する取組を行っている。本市でもできないか。

A 課題や事業効果を、調査研究する。

②シルバー人材センターについて

Q 草加市シルバー人材センターでは、高齢者や障がい者の日常生活の手助けをする事業が行われている。本市でもできないか。

A 生活支援サービスの担い手の確保や、多世代交流・地域共生などの観点から意義がある取組であり、同様の取組ができないか、市としてシルバー人材センターに働きかけていく。



斉藤 隆浩（21・未来クラブ）

①イベントボランティアの確保に向けて

Q ボランティア募集を一括で行う担当係の設置は。

A 有効と理解するが、現在は各部署においてスムーズに運営ができている。

Q ボランティア証明書発行の推進は。

A 主催団体の場合は比較的簡単に発行できるが、行政の発行は手続に時間を要する。

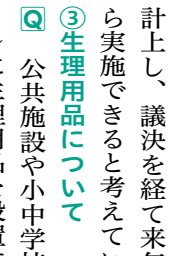
②公共施設マネジメントについて

Q 集会所や学校等の施設統合推進の考えは。

A 持続可能な運営を継続するためには不可欠と考える。今後のまちづくりに大きな影響を与えるのでバランスを取りながら進めることが重要。

Q 建設計画がある施設の財源確保の考えは。

A 大型事業が重ならないよう費用の平準化を図り、再編後のコスト削減に取り組む。



山下 淑子（公明党）

①子宮頸がん予防の仕組みづくりについて

Q ＨＰＶワクチン接種率の向上について、市として本気で取り組んではどうか。

A 今後もしっかりとワクチン接種勧奨・啓発を進める。

Q 子宮頸がん検診について、ふじみ野市のように、対象者にハガキで周知してはどうか。

A 効果について研究する。

②防犯に強いまちづくりについて

Q 犯罪抑止重点地域の街頭防犯カメラ未設置箇所について、県の補助金を申請しては。

A 第2期防犯推進計画策定で、補助金の活用を検討する。

Q 住まいの防犯グッズ購入費の助成をしてはどうか。

A 予定はないが、先進事例の効果を検証していく。

Q あいさつ運動を地域防犯施策として推進してはどうか。

A 計画策定の中で、地域の実情を踏まえて検討していく。



田中 栄志（21・未来クラブ）

①富士見市総合計画について

Q 第6次基本構想第2期基本計画の主な特徴は。

A 30の分野と40の基本政策の継承、ロジックモデルと成果指標の継承、第1期基本計画の課題への対応を行う。

Q 都市計画法第34条11号の見直しをどう盛り込むか。

A 南畑地域の産業誘導や土地利用、都市計画道路などハードをしっかり位置づけ着実に整備する。祭りなどの事業や農業政策も含めて、継続的な発展や地域振興を図ることを30の分野にちりばめる。何よりも地域の声をしっかり聴き進めていく。

②水子・水谷地域のまちづくりについて

Q より魅力的なまちづくりを進めるため、東西交通の強化の検討が必要と考えるが。

A 東武鉄道で分断されている東西交通の強化が課題であると認識している。



須崎 悦子（日本共産党）

①物価高騰対策について

Q 市民生活応援のため、市内限定クーポン券の発行を。

A 市の単独事業では困難。

②補聴器購入助成制度の早期導入について

Q 検討の進捗状況は。

A 制度の導入に向けて手続を進めている。

Q 導入はいつ頃になるか。

A 決まれば秋の予算要求で計上し、議決を経て来年度から実施できると考えている。

③生理用品について

Q 公共施設や小中学校のトイレに生理用品を設置すべき。

A スペースの確保、管理の課題があり予定はない。学校では保健室に保管している。養護教諭が状況に応じて手渡し、支援につなげている。

Q 全国では設置している自治体が増えている。まずは実践して市民や子どもたちの声を聴くことも必要では。

A 課題整理から始めていく。



庁舎の建替えについて議論が進んでいます



宮尾 玲（日本共産党）

①国民健康保険税について

Q この物価高の中で追い打ちをかけるような国保税の値上げは生活自体を壊す危険がある。負担軽減の検討を。

A 持続可能な制度にしていくための改定である。

②学校給食無償化の実施を

Q 市民アンケートでは市に望む子育て施策の1位が学校給食の無償化であった。署名も提出されている。この声に応え無償化の実施を。

A 無償化によって保護者の食育や子育てへの責任が低下する懸念もあり、現時点で無償化に取り組む考えはない。

③水谷東2丁目に新たな集会所設置を

Q 活動にも支障が出ており、住民から新たな集会所の設置を求める声が上がっている。新たな拠点の設置を。

A 新たな集会所を整備していく予定はない。



川畑 勝弘（日本共産党）

①ＤＶ被害者支援体制強化と避難者への支援について

Q 過去3年間における配偶者暴力相談支援センターに寄せられた相談件数は。

A 令和4年度74件、令和5年度75件、令和6年度87件。

Q 市民が緊急避難をしてきた場合の対応については。

A 避難者の意向を尊重しながら必要な支援につなげ、一時保護の場合は、埼玉県が避難者の安全確保を行っている。

Q 被害者の生活再建に向け生活保護・就労支援・子育て支援・カウンセリングなど一括で被害者の生活再建に向けた話をワンストップでできる相談体制は。

A 一般の行政手続のようなワンストップではなじまない。

Q 相談者は何を求めていいか分からない状況。ＤＶと判断したら、担当課がリードして支援内容を示すべき。

A 現在でも行っている。



篠原 通裕（公明党）

①防窮対策について

Q 制度につながらない方への対策の現状と今後は。

A 早期発見と包括的支援体制構築に取り組んでいる。福祉政策課には相談員を配置し、庁内外と連携して訪問支援を実施している。制度利用の心理的抵抗への配慮や広報・周知の工夫にも努め、地域へのつながりの支援強化を図る。

②老老介護について

Q 見守り体制について、現状と今後の方針は。

A 民間や地域住民と連携したネットワークの構築を進めている。今後は協力店舗の拡大と連携強化により、安心できる地域づくりを推進する。

③町会の負担軽減について

Q 現状と今後の方針は。

A 委員推薦や募金依頼が大きな負担であることが判明した。公募導入や配布物の見直しを進め、今後もＤＸ化を含めた対策を検討していく。



木村 邦憲（日本共産党）

①市営住宅について

Q 2029年に40戸の市営住宅の全廃が予定されているが、住民は先行きの不安を抱えている。市の認識は。

A 借り上げ20年間の契約満了を迎えることや財政状況等を鑑みると存続は難しい。

②シルバー人材センターへの委託業務について

Q この間、放置自転車の管理など、市がシルバー人材センターに委託する業務が減っている。今後の対策を伺う。

A 放置自転車の改善が見られたため人員削減をした。状況に応じた対応を図っていく。

Q 体調不良の高齢者の手助け、ごみ拾い、子ども達の見守り等、地域のつながりをつくってきた。市の認識は。

A 依頼できる仕事はないか、常に研究しながら探している。

Q 人員を元に戻すということも選択肢としてあるのか。

A 状況によっては元に戻す。

篠田 剛（公明党）



①ごみ集積所について

Q 動物被害や清掃管理などの課題は。

A 現在、ごみ集積所の清掃管理は利用者が行っているが、不適切なごみ出しや時間外排出により、カラスや猫などの動物によるごみの散乱被害が発生している。清掃当番の負担の増加について課題である と認識している。

Q 課題に対する取組は。

A 動物被害の課題については、啓発看板の設置やカラス除けネットの配布など環境美化に資する取組を継続していく。課題に対する取組や地域での好事例などを本市ホームページで紹介することについては、カラス除けネットを活用した優良事例をホームページで紹介している。さらなる好事例を紹介できる状況があった際には、積極的に紹介していく。

根岸 操 無会派（立憲）



①富士見市役所職員の働き方改革の現状について

Q 志木市が開庁時間を1時間短縮したことについて。

A 時間外勤務の削減や窓口対応に追われない業務効率化を目的に実施。全国的に増加。

Q 今後の富士見市の対応は。

A 他自治体を参考に、実施した場合の影響など研究する。

②鶴瀬駅東口地区の諸課題について

Q 市道第5212号線のセイフティパイプを道路ラインと同じ白色にした理由は。

A 視認性を重視した。しかし、夜間は視認しづらいので反射材などで安全対策を検討。

Q 富士見交番交差点に、駅方面左折禁止の標識の設置を。

A 東入間警察署に要望する。

Q グリーンベルトの塗装を。

A 道路管理者と協議する。

Q 駅前大屋根にミストの設置を。

A 現段階での設置は難しい。

堀 航大 無会派（国民民主党）



①若者の声を市政に活かす仕組みについて

Q 若者への情報発信や参画の仕組みづくりは。

A SNSやショート動画を活用し分かりやすく発信を検討する。若者との対話や政策参加の仕組みも検討中である。

②災害時の情報発信と防災人材の育成について

Q 防災行政無線のLINE通知の運用は。

A LINE通知は昨年導入した。

Q 富士見防災リーダー養成講座の今後について、見解は。

A 受講者増に向け、講座内容のHP掲載を検討する。

③公共施設の将来世代への責任ある管理について

Q 市民意見の取り入れに市の公式LINEを活用したアンケートを行ってみては。

A LINEでの市民アンケートの実施は現時点で未定である。



鶴瀬駅西通り線の様子

小泉 陽（21・未来クラブ）



①自然災害対策について

Q 本市における対応は。

A 倒木被害を防ぐため適宜剪定や伐採を実施している。集水ますの設置など、雨水管大雨に対して、浸水センサや は計画的な対策をしている。

②公共交通整備について

Q 本市の新たな取組は。

A 介護予防・日常生活支援総合事業サービスBによる移動支援等、ボランティア団体への補助事業により、水谷東安心まちづくり協議会に移動支援を含む生活支援サービスの提供を委託する。他の地域においても事業を実施していくことを考えている。

③市内経済の活性化について

Q 市内事業者への取組は。

A 市内事業者が実施する各種イベントの支援を行うことで市民と顔の見える関係を構築し、販路開拓や市内消費の拡大など地域産業の活性化と賑わい創出に取り組んでいる。

松本 剛（21・未来クラブ）



①鶴瀬駅西通り線について

Q 区画整理後の展望は。

A 商業・医療等の生活便利施設を誘導しつつ中心市街地にふさわしいまちづくり。

Q 歩車道ブロック切下げは。

A 「歩行者の空間の確保」を目的とし区画整理を行っているため、裏側道路からの車の出入りをお願いしたい。

②関沢地区の木造密集地における防災について

Q 防災に有効な道路計画は。

A 都市計画道路「三芳富士見通り線」が決定済みだが、今は具体的な整備計画はない。

③市民からの要望について

Q 鶴瀬駅西口の未開通道路の開通までの対策は。

A 歩行者道路の借上げは難しい。早期開通に努める。

Q 児童数の少ない水谷東地域の学区編成は。

A 学年間での交流や教員が児童全体を把握できる利点があるため、慎重に検討する。

村元 寛（草の根）



①コメ問題について

Q 新たな国の計画に基づき、本市の第2期基本計画にも反映させるべきでは。

A 施策の見直しや新たな提案を行っていく。

Q 課税対象者のうち低所得者へ「おこめ券」の配布を。

A 市独自の配布は考えていない。

②米作農業を魅力ある産業へ

Q 「彩のきずな」のブランド確立の推進を。

A 生産者や関係機関と連携し、PR活動を強化していく。

Q 将来のために輸出の準備など販路の拡大の支援を。

A 情報収集につとめる。

③羽沢1丁目の洪水対策について

Q 地域要望として、山室排水路の清掃を含む維持管理の強化や改修が求められている。

A 清掃や補修の実施、水路の一部更新工事を行っていく。

加賀 奈々恵（草の根）



①不登校児童生徒への支援について

Q 進路指導や情報提供の充実を。

A 教員研修を充実した上で進路指導の留意点を作成する。

Q 通信制・定時制高校の説明会・相談会を市主催で実施しては。

A 市のセミナーでは一部説明や相談会を実施済。今後研究する。

②防犯施策について

Q 個人宅の防犯設備への助成を。

A 現時点では考えていないが、今後研究していく。

Q 富士見市の侵入窃盗の現状は。

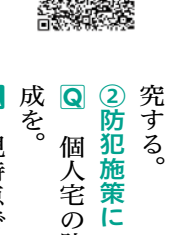
A 特に増加している。

③市民緑地等の整備について

Q 市民団体と協働した管理体制の検討を。

A 市も関与するかたちで今後検討する。

熊谷 麗（草の根）



①救命教育について

Q 救命教育PUSH心肺蘇生授業について、継続的な取組に向けた検討は。

A 大切な授業である。財源の確保含め前向きに検討する。

②みずほ台コミュニティセンター長寿命化改修工事について

Q 工事期間中の代替施設についての考えは。

A 近隣に公共施設がないため、針ケ谷コミュニティセンターを利用していただくようお願いしていく。

Q 町会や各団体が保有している備品や倉庫の移設先についての考えは。

A 保有の備品や倉庫を整理していただいた上で、近隣の移設先を検討していく。

③富士見市公共施設予約システムについて

Q 予約のキャンセル時の返金基準の設定を見直しては。

A 現状では検討していない。

今成 優太（草の根）



①商店会が維持管理する街路灯について

Q 街路灯の電気料金の補助割合の減は、商店会の負担増になる。見直すべき。

A 補助金の全庁的な見直しの中で判断している。

Q 維持管理の負担が大きい。補助金増額や市への管理の移管をし、商店会を援助すべきではないか。

A 商店街活性化推進事業補助金等を利用してもらいたい。

②放課後児童クラブの保護者負担について

Q 保護者会や連絡会での保護者負担が多い。原因は運営側や支援員の労働組合活動が混在している点にあると考える。是正すべき。

A 指定管理者と協議をしていきたい。

Q 弁当注文サービスの導入をしてはどうか。

A サービス導入に関するアンケート調査が始まっている。

議員顔写真下の二次元コードをスマートフォンやタブレットなどで読み取ると、それぞれの議員の市政一般質問一覧や、議場で質問したときの録画映像にアクセスできます。

なお、最新映像の公開には時間がかかる場合もございますので、ご了承ください。

議会映像をインターネットで配信中!

ライブ中継	本会議を生中継（字幕付き）
録画映像	本会議終了後１週間程度で配信

または

富士見市議会　中継　検索

■次回定例会のお知らせ■

９月　２日（火）	開会・議案内容説明
９月　５日（金）	議案総括質疑
９月　９日（火）	総務常任委員会
１０日（水）	
９月１１日（木）	文教福祉常任委員会
１２日（金）	
９月１６日（火）	建設環境常任委員会
１７日（水）	
９月１８日（木）	市政一般質問
～２５日（木）	
９月２６日（金）	予算決算常任委員会
１０月　１日（水）	委員長報告・採決・閉会

※日程は変更になる場合もあります。

令和7年第2回（6月）定例会　審議結果

全会一致の議案等

議案等番号	議案等の名称	議案等番号	議案等の名称
59	富士見市税条例の一部を改正する条例の制定について	69	専決処分の承認を求めることについて
60	富士見市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	報告２	令和６年度富士見市一般会計継続費繰越計算書について
61	富士見市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	報告３	令和６年度富士見市一般会計繰越明許費繰越計算書について
62	富士見市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	報告４	令和６年度富士見都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書について
63	富士見上南畑地区地区計画区域内における建築物の緑化率の最低限度に関する条例の制定について	報告５	令和６年度富士見都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書について
64	令和７年度富士見市一般会計補正予算（第１号）	報告６	令和６年度富士見市水道事業会計予算繰越計算書について
65	工事変更請負契約の締結について	報告７	令和６年度富士見市下水道事業会計予算繰越計算書について
66	工事変更請負契約の締結について	諮問１	人権擁護委員の推薦について
67	専決処分の承認を求めることについて	議８	地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書の提出について
68	専決処分の承認を求めることについて	議９	米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書の提出について

※「報告」については、採決の対象ではありません

賛否の分かれた議案等

○賛成　×反対

議案等番号	議案等の名称	審議結果	21・未来クラブ					草の根					公明党				日本共産党				(国)	(立)	(維)
			松本剛	小泉陽	佐野正幸	田中栄志	斉藤隆浩	村元寛	加賀奈々恵	熊谷麗	勝山祥	今成優太	篠田剛	篠原通裕	山下淑子	深瀬優子	木村邦憲	宮尾玲	須崎悦子	川畑勝弘	堀航大	根岸操	伊勢田幸正
請願１	国に「消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）廃止の意見書」の提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
議 10	消費税率の５％への引下げを求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×
議 11	日本学術会議解体法に反対する意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
議 12	米不足と価格高騰に対する緊急対策と抜本対策を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	○	○	○	議長	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×
議 13	下水道料金の引下げのために国の支援強化を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	○	○	○	議長	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×
議 14	埼玉県水道料金の引上げの撤回を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×
議 15	選択的夫婦別姓制度の法制化に関する意見書の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※表中、（国）は無会派（国民民主党）、（立）は無会派（立憲）、（維）は無会派（日本維新の会）を省略し表記しています。
※表中、議案等番号の「議」は議員提出議案です。
※議長の賛否の表明は議長を除く議員の賛否が同数の場合のみです。

6月定例会 議案審議報告

議案第５９号
富士見市税条例の一部を改正する条例の制定について　（全会一致可決）

地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律が令和７年３月３１日付けで公布されたこと等に伴い、富士見市税条例の一部を改正するものです。

≪主な内容≫

- 個人市民税において、特定親族特別控除の創設に伴い、所得控除に係る規定、公的年金受給者の申告義務に係る規定及び扶養親族等申告書に係る規定を整備する。　［令和８年１月１日施行］
- 市たばこ税において、加熱式たばこの課税標準の見直しに伴い、加熱式たばこの紙巻たばこへの本数換算に係る規定を整備する。　［令和８年４月１日施行］

議案第６０号
富士見市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について　（全会一致可決）

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正等に伴い、小規模保育事業所が連携協力を行う保育所、幼稚園などの連携施設について、その協力内容や確保などの条件等を改正するものです。

≪主な内容≫

- 保育の内容に関する支援については、保育所、幼稚園又は認定こども園以外の保育事業者から確保することも可能とする。
- 代替保育については、連携施設の確保が著しく困難であると認める場合は、連携施設の確保を不要とすることを可能とする。
- 連携施設を確保しないことができる経過措置の期間を令和１２年３月３１日までの１５年間に延長する。

［令和７年６月２５日施行］

議案第６１号
富士見市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について　（全会一致可決）

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正等に伴い、小規模保育事業所が連携協力を行う保育所、幼稚園などの連携施設について、その協力内容や確保などの条件等を改正するものです。

≪主な内容≫

※議案第６０号の主な内容と同様

［令和７年６月２５日施行］

議案第６４号
令和７年度富士見市一般会計補正予算（第１号）　（全会一致可決）

既定の予算に1,259万円を増額し、予算の総額を436億1,933万3,000円とするものです。

≪主な内容と金額≫

- 市道第225号線整備に係る用地測量や物件補償等を実施するための補正　［2,454万6,000円］
- 外壁タイルに割れや浮きが確認された市役所分館の全面に外壁ネットを施工するための補正　［709万5,000円］
- 令和７年４月に締結した庁内ＬＡＮ用パソコンのリースに係る契約差金を減額するための補正　［△2,787万円］

議案第６５号
工事変更請負契約の締結について［市立水谷中学校長寿命化建築工事（第２期工事）（ゼロ債務）］　（全会一致可決）

≪請負金額≫
変更前…４億5,671万5,600円
変更後…４億8,419万3,600円
（2,747万8,000円の増額）
≪請負業者≫
三ツ和総合建設業協同組合埼玉西支店

議案第６６号
工事変更請負契約の締結について［市立勝瀬中学校長寿命化建築工事（第２期工事）（ゼロ債務）］　（全会一致可決）

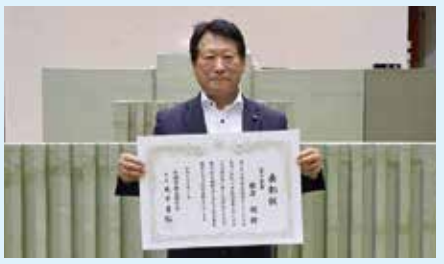
≪請負金額≫
変更前…２億3,407万5,600円
変更後…２億4,640万6,600円
（1,233万1,000円の増額）
≪請負業者≫
斎藤工業株式会社埼玉西営業所

諮問第１号
人権擁護委員の推薦について　（全会一致同意）

令和７年９月30日で任期満了となる**山岸仁史**（やまぎしひとし）氏を、再び推薦することに同意したものです。

この度、全国市議会議長会から、長年にわたって地方自治の発展に寄与し、貢献したことにより、根岸操議員が表彰され、今定例会において表彰状が伝達されました。

≪20年在職≫



再生紙使用　発行 富士見市議会　編集 広報広聴委員会　電話049（265）7800　発行日 令和７年８月20日（204号）